

介護休業手当金請求書

※決定額 円 No.

組合員証 記号 番号	組合員氏名	所属機関名	住所		初介 日護	初日	平成 年 月 日
			氏名	の組合員 続柄と	・休 末業 日の	末日	平成 年 月 日
請求期間	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで	請求金額	円		標準報酬月額	第 級	円
及び各月の 請求日額数	月分	月分	月分	月分	日	日	円
上記のとおり請求します。							
愛媛県市町村職員共済組合理事長 殿 平成 年 月 日 請求者 住所氏名 (印)							
上記の記載事項は、事実と相違ないものと認めます。 平成 年 月 日 所属所長 職名氏名 (印)							

- 「介護休業に関する所属機関の長の証明書」(介護休業承認書の写しに原本証明をしたものなど)を添付して下さい。
- 必要事項を記載し、所属所長、所属機関の長又は給与事務担当者の証明を受けたい提出して下さい。
- 報酬とは、給料及び各市町の給与条等で定められている諸手当(期末・勤勉手当を除く)をいいます。
- ※印欄は、記入しないで下さい。

所属機関の長又は給与事務担当者の証明

平成 年 月 日から平成 年 月 日まで出勤しなかった期間に対して、次の金額の報酬を支払ったことを証明します。

期 間	本来支給額	給料月額	扶養手当	住居手当	計	
		円	円	円	円	円
自 平成 年 月 日 割		円	円	円	円	円
自 平成 年 月 日 割		円	円	円	円	円
自 平成 年 月 日 割		円	円	円	円	円
自 平成 年 月 日 割		円	円	円	円	円
自 平成 年 月 日 割		円	円	円	円	円

平成 年 月 日

(証明者) 所属機関の長又は
給与事務担当者 職名
氏名 (印)

※介護休業手当金計算書

1 標準報酬日額	今回支給日数(該当日に○印を付ける。)																			
$\frac{\text{標準報酬月額}}{22} \times 1 = \text{円} \dots (A)$	月分																			
2 給付日額(給付上限相当額 14,992円)	曜日	1	8	15	22	29	曜日	1	8	15	22	29	曜日	1	8	15	22	29		
$(A) \times \frac{67}{100} = \text{円} \dots (B)$		2	9	16	23	30		2	9	16	23	30		2	9	16	23	30		
3 給付額		3	10	17	24	31		3	10	17	24	31		3	10	17	24	31		
$(B) \times \text{日} = \text{円} \dots (C)$		4	11	18	25		4	11	18	25		4	11	18	25		4	11	18	25
4 報酬との調整		5	12	19	26		5	12	19	26		5	12	19	26		5	12	19	26
$(C) - \text{円} = \text{円} \dots (D)$		6	13	20	27		6	13	20	27		6	13	20	27		6	13	20	27
		7	14	21	28		7	14	21	28		7	14	21	28		7	14	21	28
※支給開始日						※前回支給分						※今回支給分								
平成 年 月 日分						平成 年 月 日分						平成 年 月 日分								

※給付上限相当額は、雇用保険法第17条第4項第2号ハに定める額の変更に伴い変更されます。